学校番号	3029

令和８年度 学 ＳＳ理数

教科	学 SS理数	科目	(学)ライフサイエンス	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	課題研究メソッド 2nd Edition（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

第２学年の『ライフサイエンス』では、人文社会系、理数系、さらには文理の境界領域、生活科学、健康科学、文化、芸術などの多彩な課題について研究を進め、「研究の方法」を身につけてきました。第３学年では、これまでの『ライフサイエンス』の研究結果を英文にまとめていきます。最終成果物として、英語の研究報告書を作成します。また、『信念（まこと）』『理想（のぞみ）』の内容を深化・発展させる取組を行い、思考力、判断力、表現力を高めていきます。第３学年の『ライフサイエンス』の取組を通して、みなさんが生きる社会で大切な力を身に着け伸ばしていくことを期待します。

2　学習の到達目標

第３学年の『ライフサイエンス』は、知識・技能を活かして取り組んだ１、２年の学校設定科目『信念（まこと）』『理想（のぞみ）』を含めた３年間の総まとめです。『信念（まこと）』で培ったインプットの力（情報収集力・読解力）とアウトプットの力（表現力・プレゼンテーション力）、『理想（のぞみ）』で培った論理的思考力・数理解析力で思考・判断・表現の力をさらに伸ばしていくと共に、自分の考えをまとめ、それを英語で発信する事に取り組み、主体的に学習に取り組む態度を身に着けていきましょう。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a ：知識・技能	b ：思考・判断・表現	c ：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象とする事象について探究するための必要な知識・技能を身につけている。 理数系等の研究だけでなく、人文社会系等の研究においても、客観的検証ができるように、科学的方法を用いて研究を進め、また、情報分析やデータ処理等において、数学的方法を活用して研究を進めることができる。 課題の探究を通して、知識・技能を論理的に活用する力を身に付けることができている。	対象を多角的複合的に捉え、生徒自身の視点でリサーチクエスチョンを設定して研究計画をたて、課題の解決に向けて研究を進めることができる。 研究を通して得られた情報、調査データ、実験データ等を、科学的もしくは数学的に分析・考察し、論理的に結論を導き出すことができる。 研究成果について、論理的に表現して発表し、また、文章の形として研究報告書をまとめることができる。	研究テーマの魅力・面白さをよく理解し、研究テーマに対する熱意を持っている。 意欲的に研究に取り組み、研究を楽しむことができている。 自己の研究に加え、周りの生徒（LSコースだけでなくSSコースを含め）との研究交流を通して、様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、科学的あるいは数学的に考えて研究を進め、課題の解決に向けて挑戦しようとする姿勢を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、前期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価基準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間考査まで	取組の前半	● 英語による研究発表 研究結果を英語による発表する活動	a　知識に基づく自らの研究の理解 b　論理的な構成、英語表現 c　意欲的なグループワーク・発表	○ グループワーク 研究発表	○ グループワーク 研究発表	○ グループワーク 研究発表
		●『信念(まこと)』の発展 課題文を読解し、 考えをまとめる活動	a　知識と関連づけた課題の理解 b　解決の思考・判断・発表の表現 c　課題に対する意欲	○ グループワーク 研究発表	○ グループワーク 研究発表	○ グループワーク 研究発表
		●『理想(のぞみ)』の発展 数学的課題について、 解決してまとめる活動	a　知識に基づく論理的思考 b　解決の思考・判断・発表の表現 c　課題に対する意欲	○ グループワーク 研究発表	○ グループワーク 研究発表	○ グループワーク 研究発表
前期期末考査まで	取組の後半	● 英語による研究報告書 研究結果を英語で 報告書にまとめる活動	a　知識に基づく自らの研究の理解 b　論理的な構成、英語表現 c　意欲的なグループワーク・発表	○ グループワーク 研究報告書	○ グループワーク 研究報告書	○ グループワーク 研究報告書
		●『信念(まこと)』の発展 課題文を読解し、 考えをまとめる活動	a　知識と関連づけた課題の理解 b　解決の思考・判断・発表の表現 c　課題に対する意欲	○ グループワーク 研究レポート	○ グループワーク 研究レポート	○ グループワーク 研究レポート
		●『理想(のぞみ)』の発展 数学的課題について、 解決してまとめる活動	a　知識に基づく論理的思考 b　解決の思考・判断・発表の表現 c　課題に対する意欲	○ グループワーク 研究レポート	○ グループワーク 研究レポート	○ グループワーク 研究レポート

※　表中の観点について　　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度